

全レポート一覧表示 ▼
日本大学文理学部国文学科
お問い合わせ

日本大学文理学部
国文学科
NIHON UNIVERSITY, DEPARTMENT OF
JAPANESE LANGUAGE AND LITERATURE.

Introduction
はじめに

Group1
携帯メールにおける
絵文字使用に関するアンケート

Group2
流行語と顔文字における
認知度と使用頻度の差

Group3
外来語と和製英語の
認識について

Group4
敬語の使用に関する調査

Group5
日本語の誤用について

Group6
電子メールに対する意識調査

このページを印刷 (印刷用PDF)

検索

アンケート 日本語学 超入門編!

日本語学基礎演習 1

Group3 外来語と和製英語の認識について

<坂口班>
坂口 慧
宇田川 隆之介

PDF

[坂口班 発表データ \(PDF\)](#)

PDF

[使用した調査票 \(PDF\)](#)

調査概要

- 日本で使用されている外来語、和製英語が、どのように識別されているのか、その傾向を調べる。
- 日本語学基礎演習1を履修する学生と、その関係者計25名を対象とした、アンケート形式による調査。
学生19人(男性13人、女性6人)
その他6人(男性3人、女性3人)

外来語、和製英語の定義

- 【外来語】他の言語から借用し、自国語と同様に使用するようになった語。
例「テーブル」
「コーヒー」
「スポーツ」

参照元：デジタル大辞泉
URL:http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/t19910207001/t19910207001.html

外来語、和製英語の定義

- 【和製英語】日本で英語の単語をつなぎ合わせたり変形させたりして、英語らしく作った語。
例「ゴールイン」
「シナリオライター」
「バックミラー」など。

参照元：デジタル大辞泉
URL:<http://dic.yahoo.co.jp/dsearch?p=%E5%92%8C%E8%A3%BD%E8%8B%B1%E8%AA%9E&stype=0&dtype=0>

仮説

- ➔ **仮説①**：普段使用している単語ほど、和製英語の識別正答率が低い。(宇田川)
- ➔ **仮説②**：視聴するテレビ番組の種類によって、外来語と和製英語の区別についての認識に差がある。(坂口)

結論

今回の調査では仮説通りの結果になるケースが多かったが、どれもわずかな差異ばかりだったので信憑性は薄いかもしれない。特に、アンケートの製作段階での単語の選別(使用頻度の予想等)は、班員の主観によるものが多かった為、より多くの単語を調べるとさらに明確な分析ができたのではないかと考えられる。
次に同じような機会が与えられた場合、より正確な調査ができるようにしたい。

参考文献

- 例文で読むカタカナ語の辞典
編集：小学館辞典編集部

 ページ TOP へ

Copyright (C) 2011 Department of Japanese Language and Literature. All right reserved.